

SHARP

2006年 年頭記者会見

2006年1月11日

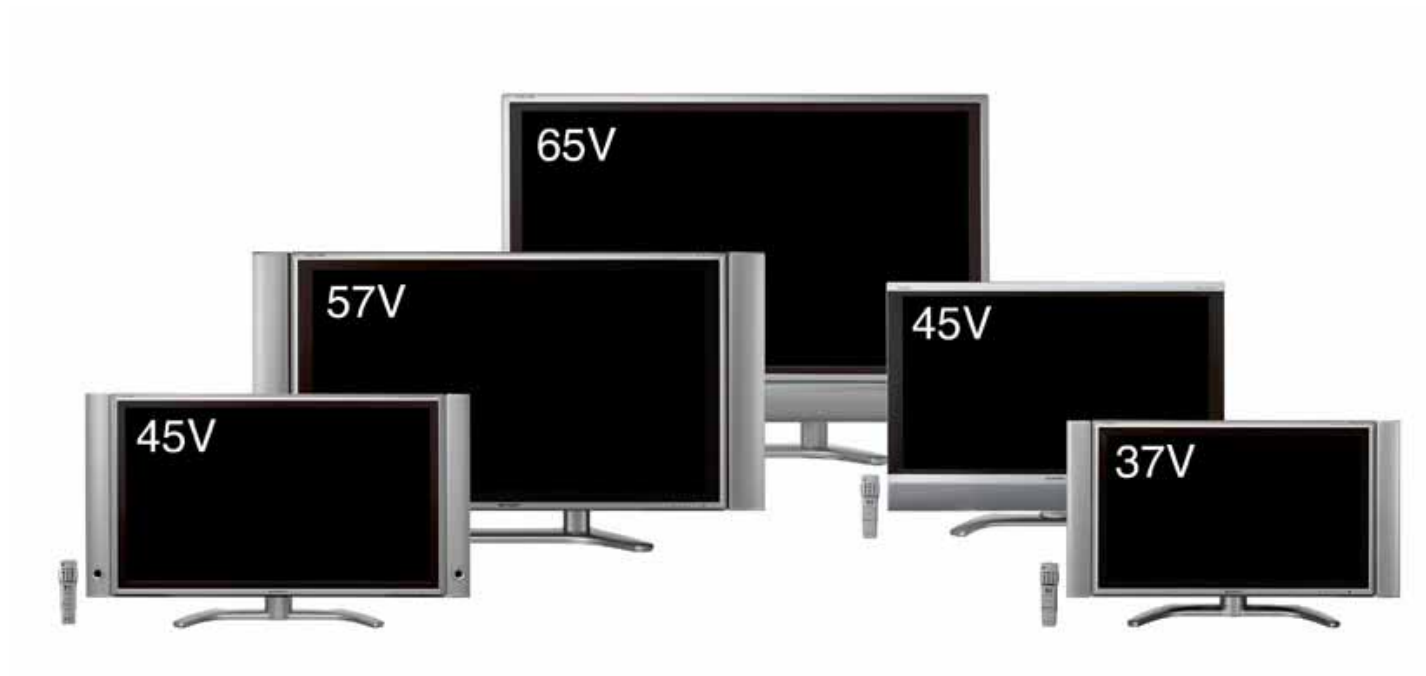
シャープ株式会社

社長 町田勝彦

.はじめに

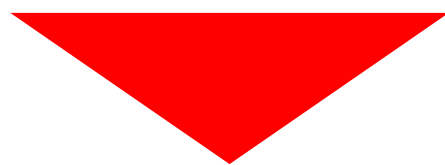
.2006年度重点事業取り組み方針

1. 液晶テレビおよび大型液晶事業



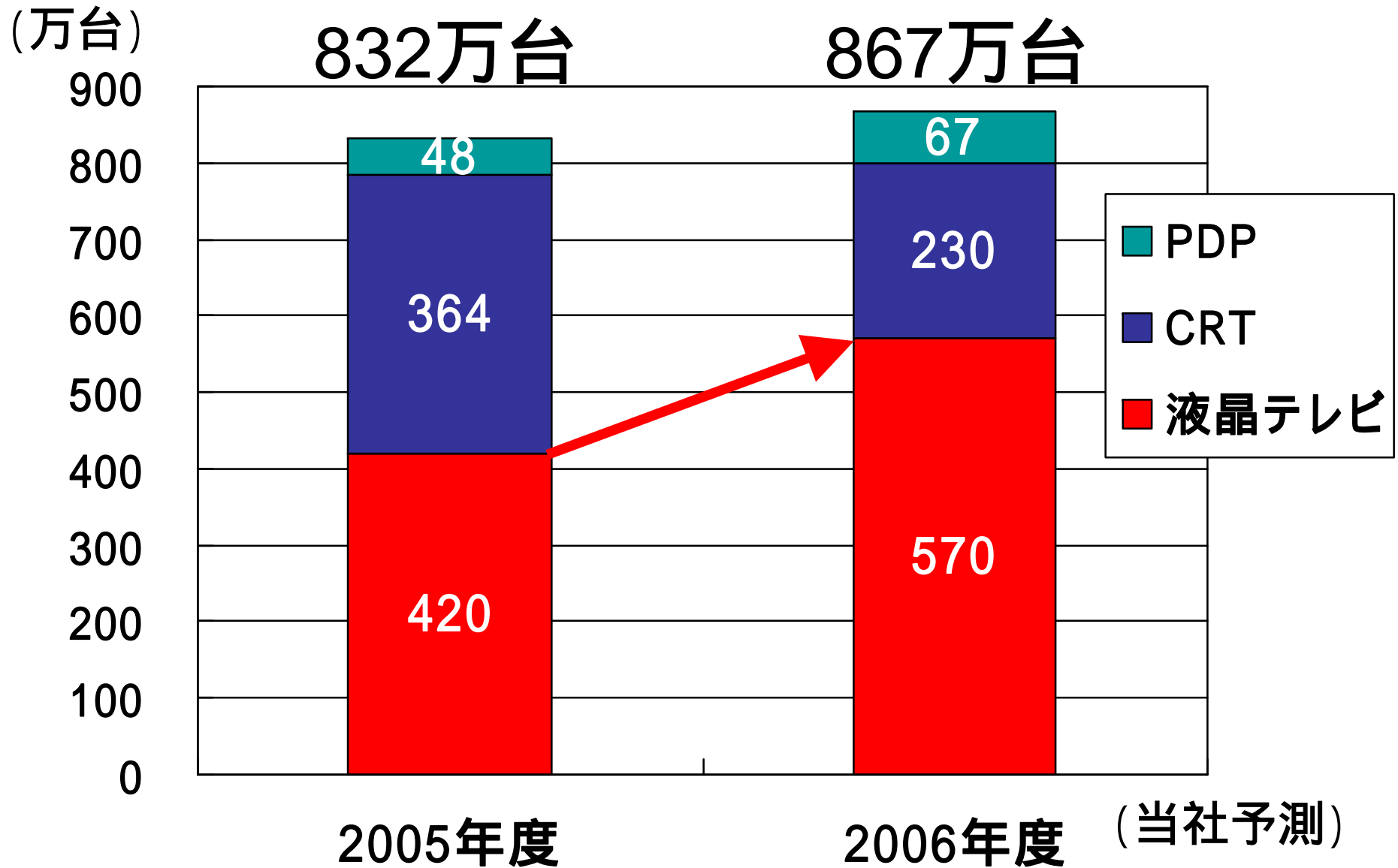
[1998年記者会見]

「2005年までに、国内で販売するカラー
テレビをブラウン管から液晶に置き換える」

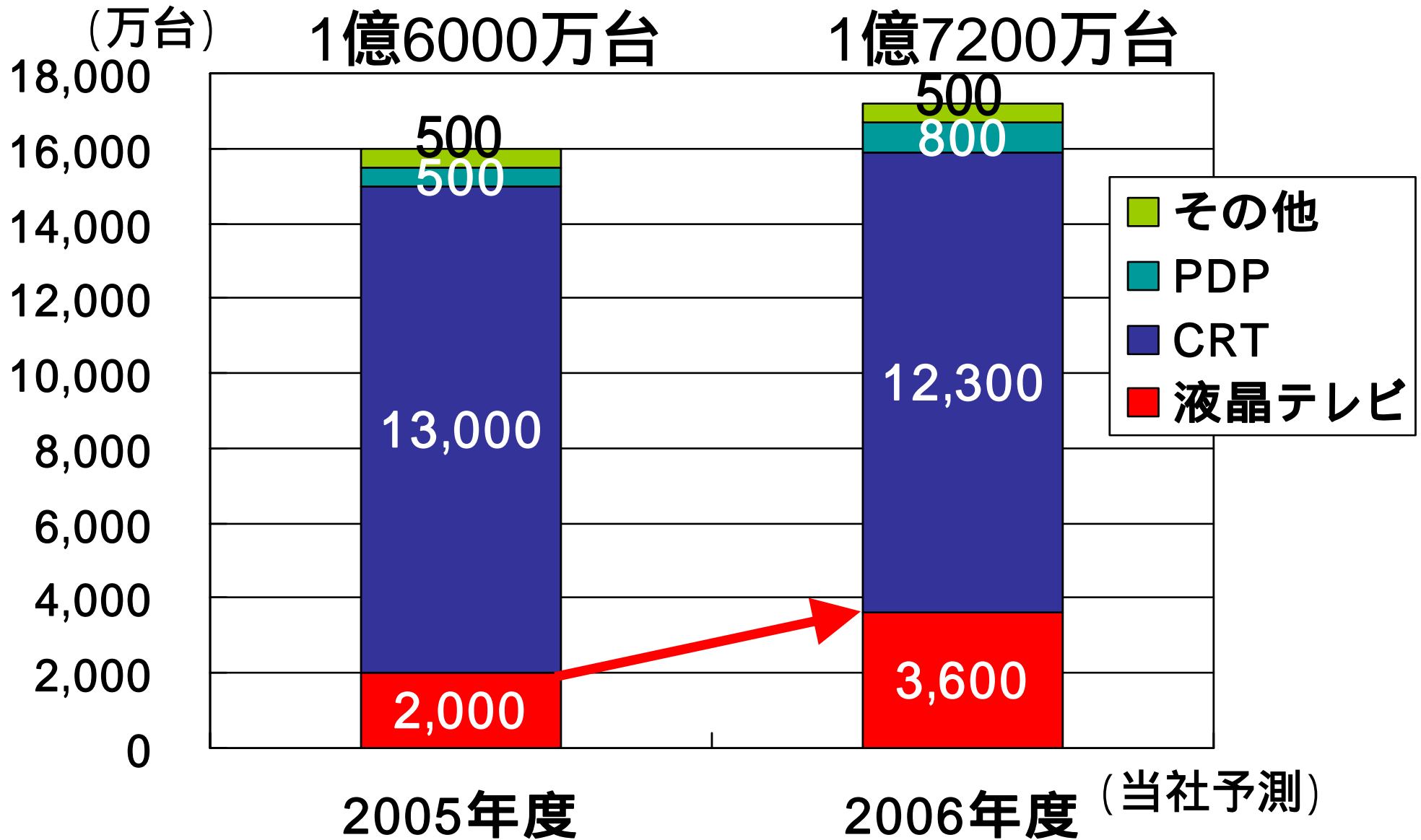


2004年末ほぼ達成

国内 テレビ需要



世界 テレビ需要





「真の液晶世界NO.1企業」

液晶テレビ事業 販売台数(予想)

2005年度 400万台(+47.1%)

2006年度 600万台(+50.0%)

大型液晶パネルの生産体制

亀山第1工場の増強

マザーガラス投入枚数

2005年 4月

45,000枚/月

2005年10月

51,000枚/月

2006年 3月

< 150億円投資 >

60,000枚/月

(前年比+33%)

大型液晶パネルの生産体制

亀山第2工場の稼動

A. 40・50型に最適な第8世代マザーガラス
(2,160 × 2,400mm)

B. インクジェット方式カラーフィルター等
革新的生産プロセスの導入や材料革命

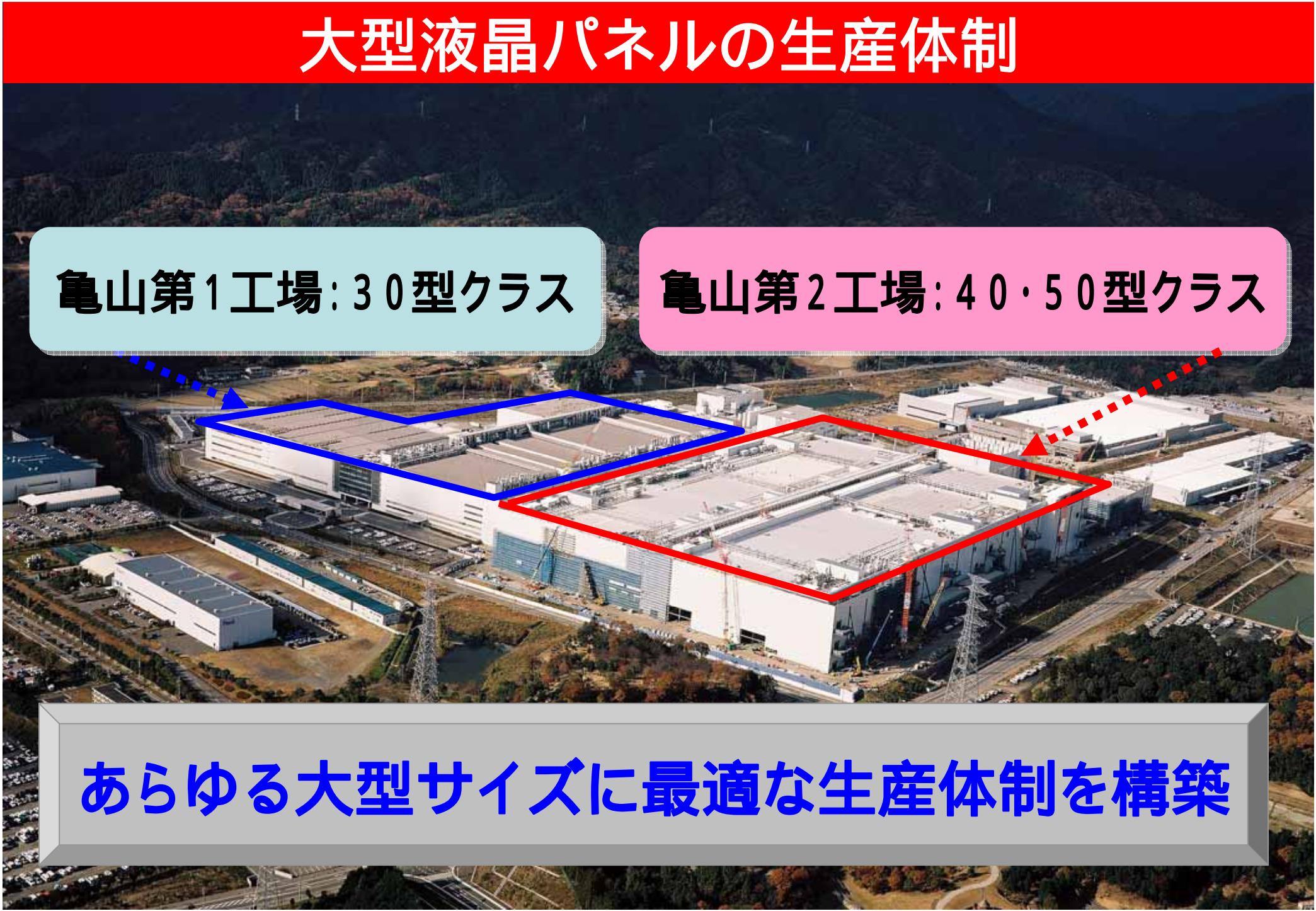
PDPに負けないコスト競争力を実現

大型液晶パネルの生産体制

亀山第1工場: 30型クラス

亀山第2工場: 40・50型クラス

あらゆる大型サイズに最適な生産体制を構築



大型液晶パネルの生産体制

亀山第2工場第2期展開

[2005年年頭会見時発表]

2007年末迄に投入能力を
月15,000枚から月30,000枚に増強



2007年3月末迄(2006年度中)に前倒し

AQUOSのグローバル展開

AQUOS生産販売のグローバル化

1. AQUOS生産世界5拠点体制

2. エリア別開発体制

3. 亀山第2工場パネル搭載AQUOS の世界同時発売

2. 携帯電話およびシステム液晶事業



2006年 国内携帯電話 新サービス

2006年4月

地上デジタル放送『ワンセグ』開始

2006年11月

『ナンバーポータビリティ』開始

携帯電話事業の拡充

1. 国内新サービスに対応した
オンリーワン商品の創出

2. 国内3キャリアへの
供給体制の確立

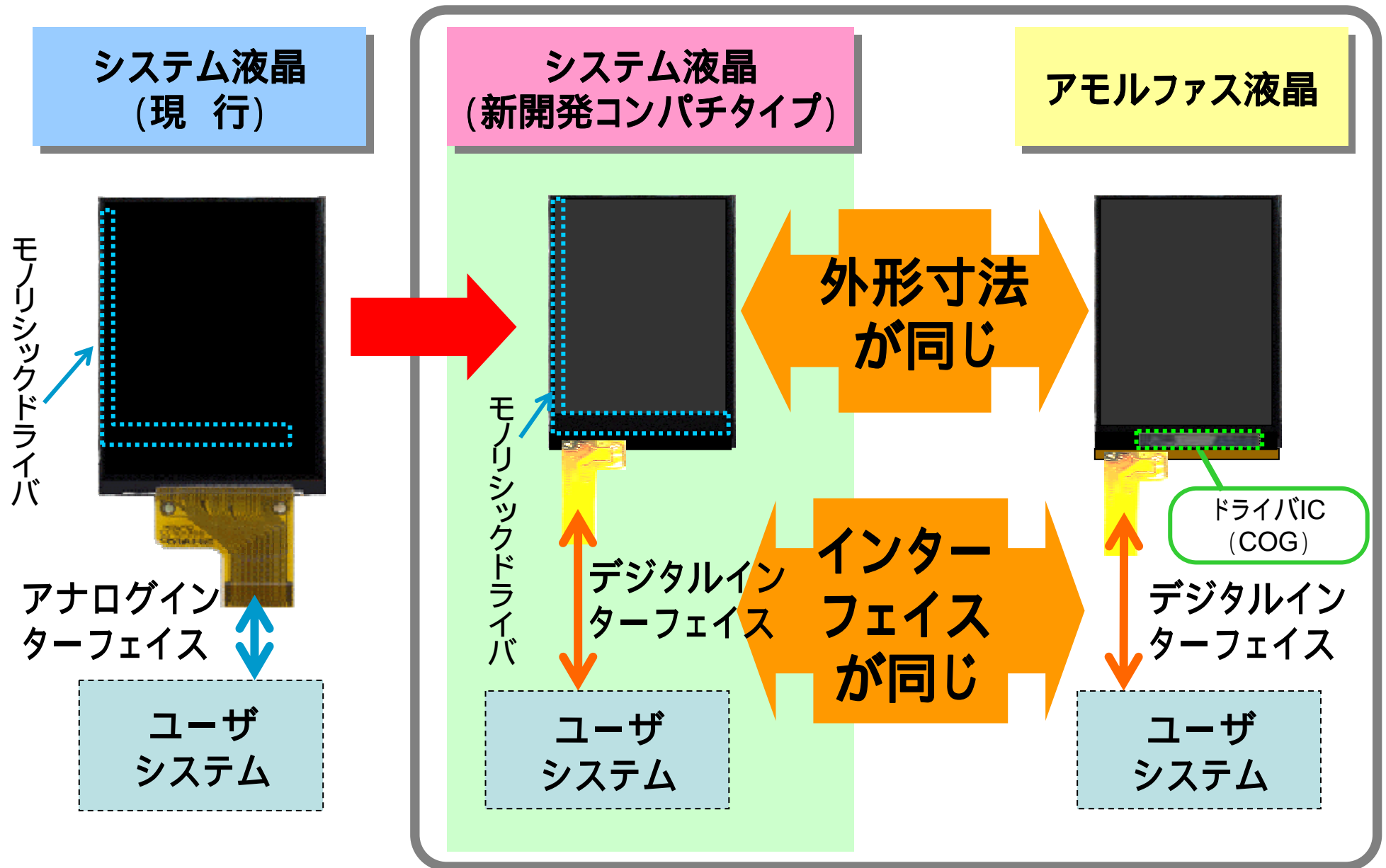
3. 海外は3Gに集中。海外市場に
フィットしたオンリーワン商品の創出

携帯電話事業 販売台数(予想)

2005年度 1,100万台(+10.2%)

2006年度 1,300万台(+18.2%)

アモルファス液晶からシステム液晶への切り替え



システム液晶事業 連結売上高(予想)

2005年度 2,200億円(+17.6%)

2006年度 2,600億円(+18.2%)

液晶事業 連結売上高(予想)

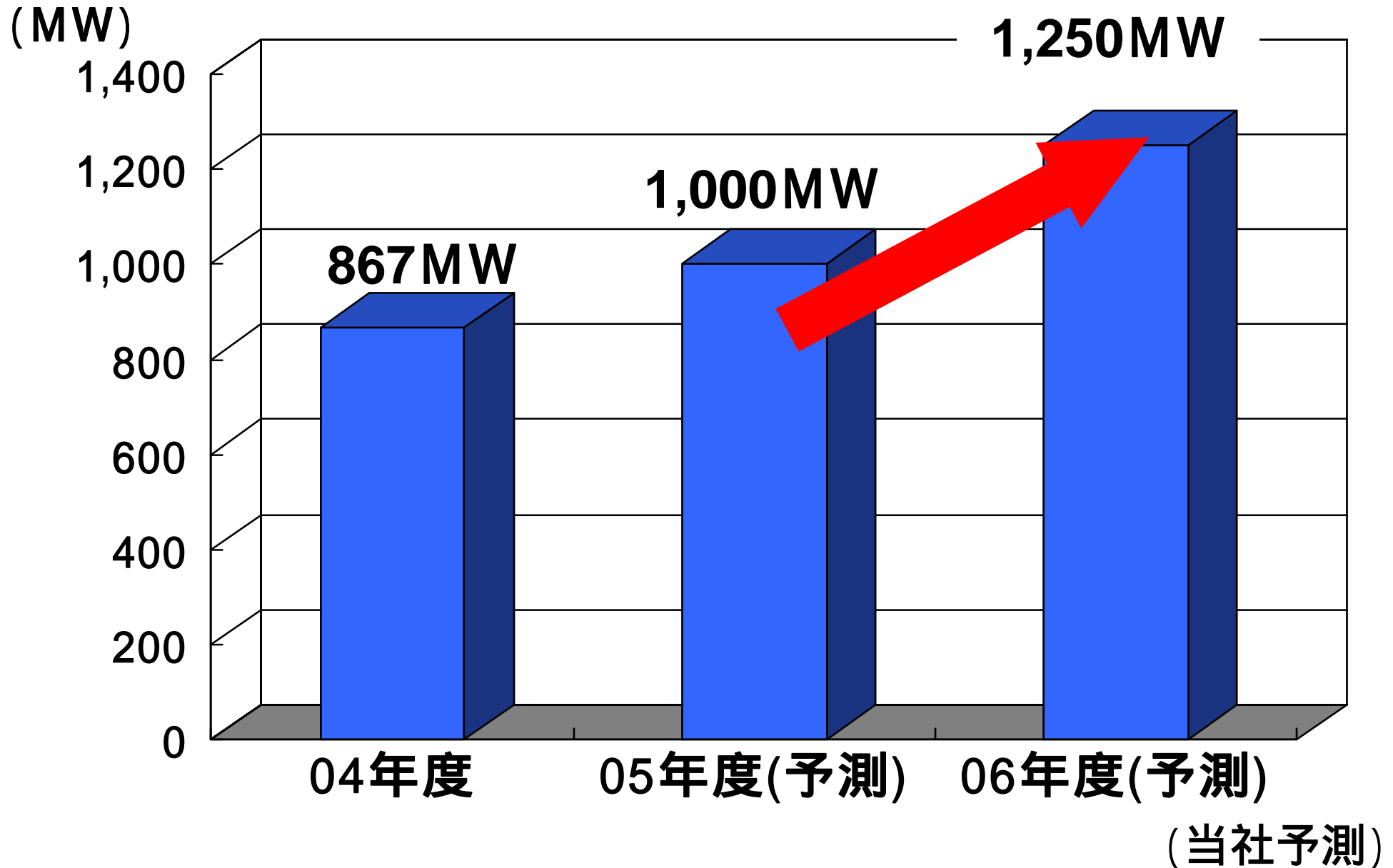
2005年度 8,300億円(+15.3%)

2006年度 9,800億円(+18.1%)

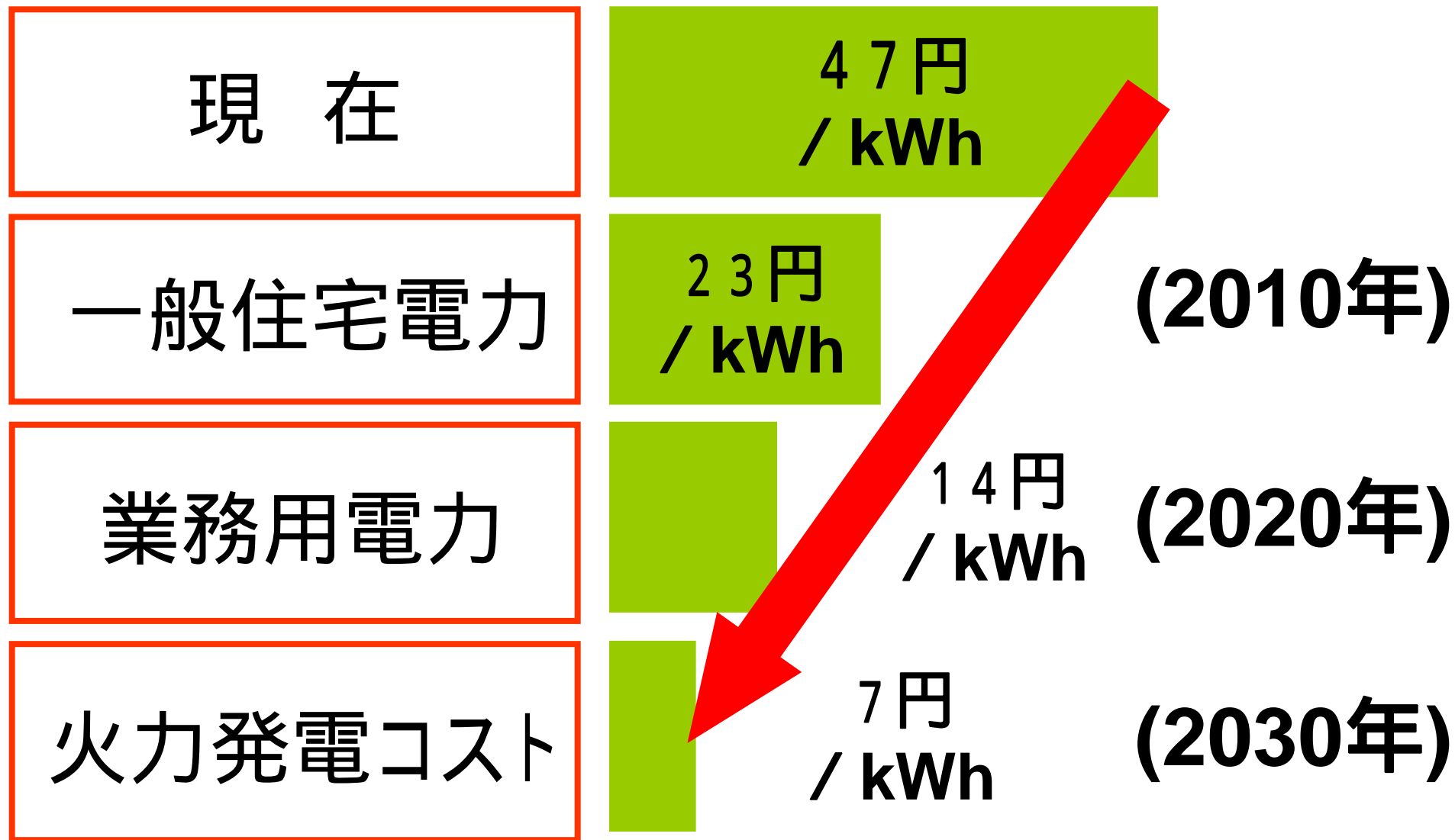
3. 太陽電池事業



太陽電池の世界需要

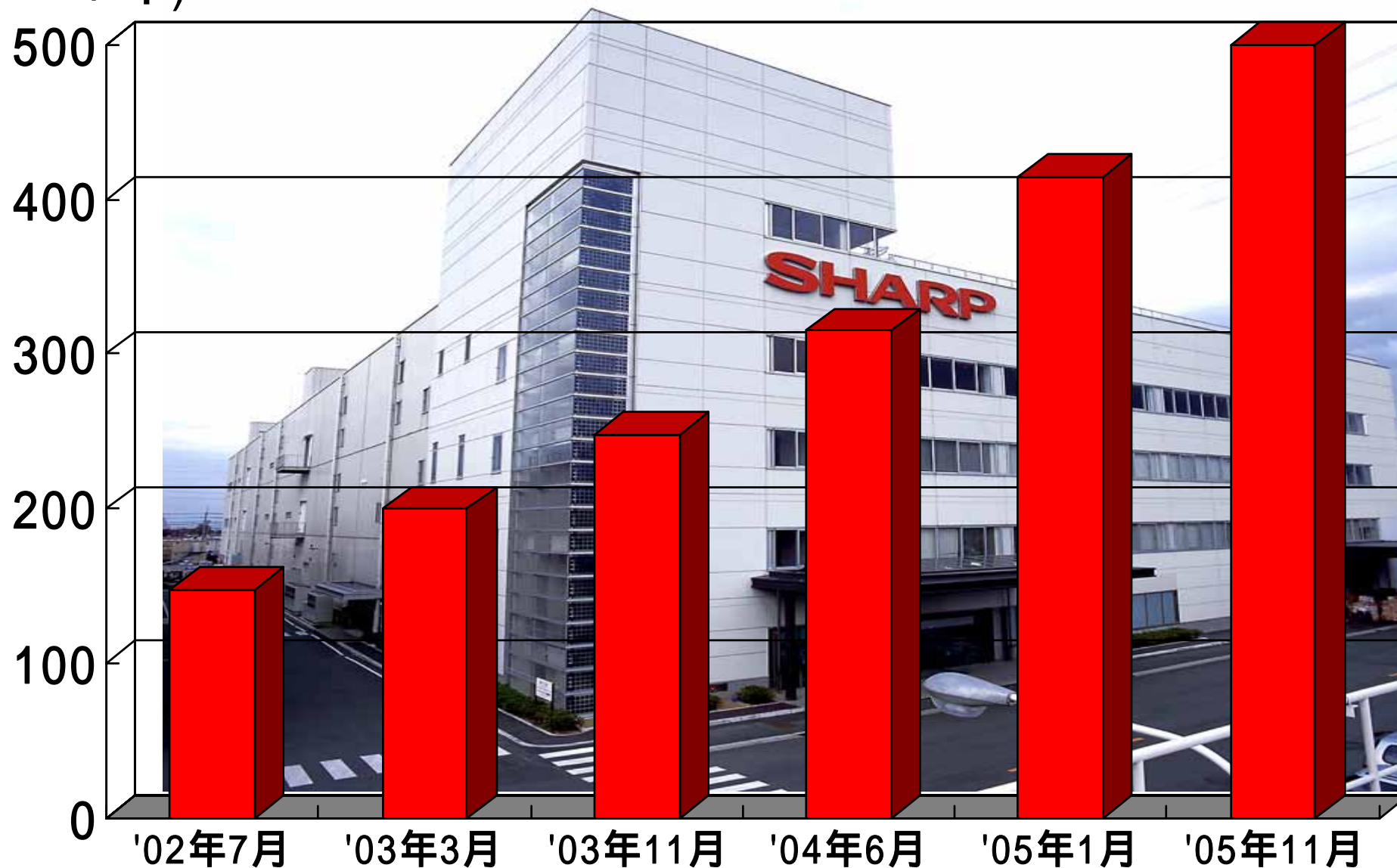


太陽電池発電コストの低減



太陽電池の生産能力 < 葛城工場 >

(MW/年)



太陽電池事業 連結売上高(予想)

2005年度 1,500億円(+27.7%)

2006年度 2,000億円(+33.3%)

.2006年度売上目標と設備投資



2006年度連結売上高
過去最高の3兆円を目指す

2006年度連結設備投資計画
約2,750億円

内、液晶関係 : 1,900億円強

SHARP